

第288号 2011年 8月11日  
弘前大学総務部総務課

**学術講演会・研究発表会・公開講座**

**弘前大学保健学研究科FDフォーラム開催のお知らせ**

学生と一緒に、より良い授業の展開を目指したフォーラムを企画致しました。多数の御参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年 8月31日（水）  
17：40～19：30
2. 場 所：弘前大学保健学研究科 第24講義室（6F）
3. テーマ：「良い授業と悪い授業の違いは何か」
4. 主 催：保健学研究科FD委員会  
FDフォーラム準備委員会（保健学科学生組織）

**問い合わせ先：** 弘前大学保健学研究科 中野 京子  
電 話：0172-39-5965  
E-mail：[n1220@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:n1220@cc.hirosaki-u.ac.jp)



**「第13回青森継続看護研究集会」開催のお知らせ（再掲）**

青森継続看護研究会は、保健医療福祉に関わる専門職者だけでなく市民への参加も呼びかけ、年1回の集会を開催しています。今年度は、東日本大震災時の対応と、高次脳機能障害の方の支援についてとりあげ、下記のように開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年 8月21日（日） 9：55～16：35
2. 会 場：弘前大学大学院保健学研究科 総合研究棟第24講義室（6階）  
地域看護学実習室（2階）
3. プログラム：

○示説によるラウンド・ディスカッション  
10：00～11：20

「東日本大震災 そのとき現場でどう対応したか」  
病院、施設、訪問看護ステーション、医療系大学などの  
立場から、7件の話題が提供されます。

○講 演  
13：00～14：40

「高次脳機能障害について」  
講師：北條 敬 氏（松平病院 理事長・院長）



○シンポジウム

14:50～16:30

「高次脳機能障害を持つ方と家族の支援」

コーディネーター：野宮 富子 氏（東青地域県民局 地域健康福祉部 保健総室）  
日ごろ高次脳機能障害を持つ方と関わっている精神保健福祉士、障害者職業カウンセラー、  
言語聴覚士、ご家族の4名の方々に発表していただきます。

※会員は参加無料です。会員以外の方でも内容に関心をお持ちの方はどなたでも参加できますが、  
資料代として500円をお願いしています。参加申し込みは不要です。

**問い合わせ先：** 弘前大学大学院保健学研究科 木立 るり子  
電 話・FAX：0172-39-5922  
E-mail：[kidachi@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:kidachi@cc.hirosaki-u.ac.jp)

**弘前大学理工学研究科博士後期課程安全システム工学専攻博士論文公聴会のお知らせ（再掲）**

弘前大学理工学研究科博士後期課程安全システム工学専攻の博士論文公聴会を下記の要項で開催  
いたします。皆様のご出席をお待ちしています。

1. 日 時：2011年 8月30日（火） 13:00～15:00

2. 場 所：弘前大学理工学研究科1号館4階 第8講義室

3. 学位申請者：陳 剛

4. 論文題目：

Fabrication of high performance cathode-supported SOFC and the degradation  
mechanism of Ni-based anode at high current density

（高性能空気極支持型SOFCセルの創製及び高電流密度領域におけるNiベースアノード劣化機構  
の解明）

**問い合わせ先：** 弘前大学北日本新エネルギー研究所 阿布 里提  
電 話：017-735-3362  
E-mail：[abuliti@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:abuliti@cc.hirosaki-u.ac.jp)

## 学 内 掲 示 板

### 弘前大学出版会から新刊のご案内

医学研究科教授 須田俊宏 著「臨床内分泌・代謝学 改訂第2版」(B5判、515頁、定価5,775円：税込)を出版しました。

「臨床内分泌・代謝学 改訂第2版」の今回の特徴を挙げると次のようになる。

1. 各章ともに各疾患の病態生理を基礎から臨床まで詳細に解説している。
2. 学生のみならず研修医にも充分満足できるよう新しい疾患概念や診断、治療法の進歩を書き加え内容をより充実させた。
3. 実際の症例を掲載し、どのように診断し治療したのか、検査所見や画像を用いてコンパクトに解説した。
4. 現時点での最新の診断基準やガイドラインを用いて解説し、最近の新しい治療法や治療法についても網羅されている。

このために、カラーや画像を多く取り入れ、500頁を超える内容となっている。内分泌・代謝学の分野の参考書として、実践的で必ず臨床の現場で役立つものとお勧めしたい。



ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

### 弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

**問い合わせ先：** 弘前大学出版会（附属図書館内）  
電 話：0172-39-3168  
F A X：0172-39-3171  
E-mail：[hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp)

### 国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学会が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

[http://www.janu.jp/active/7janu\\_quarterly\\_report.html](http://www.janu.jp/active/7janu_quarterly_report.html)

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務課広報・支援グループ

E-mail：[jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp)、Fax:37-6594、内線：3012